

畑の天気 6 月

☀️12日☔️12日☁️6日

最高気温 35℃

平均気温 29.5℃

# うたきの杜たより

第6号

2026.7.16

石垣市平得1032-2

## 台風 9 号の備え

7月11日、超大型台風9号が宮古・八重山地方近くを通過した。数年ぶりの大型台風直撃という報道もあり、発生直後から進路を確認しながらできる準備を進めてきた。

まず三人で「やるべきこと」をホワイトボードに書き出し、担当と日程を決めた。収穫期を迎えていたインディゴは、全て刈り取り乾燥機にかけた。2機の乾燥機を止めずに動かせるよう、屋外作業と室内作業に分かれて、バイトも入れて進めてきた。ヘナも残っていた分をできる限り収穫した。あわせて、防草シートの点検、6月に植えた苗の杭打ち固定、ホースや資材の片付けなど、思いつく限りの対策を行った。

私は7月11日に沖縄本島で舞台公演があり、予定を変更して7/9に那覇へ向かった。主のいない間も、仲間の二人が室内外の作業を引き継いだ。乾燥室では、ヘナ、インディゴ、アカバナーの乾燥葉や粉類にシリカゲルを追加し、停電や湿気に備えた。戸締まりも、台風時の方法で一つひとつ確認した。

二人は台風通過後、すぐに畑の被害を確認し、室内に避難させていた苗を外へ戻していた。停電で少し湿気を含んだインディゴ葉は、袋を開けて乾燥を促す対応をしていた。幸い畑への被害は思ったよりなかった。そして通常勤務日より、片付けと日常作業を進めることができるように段取りされていた。

今回の台風では、私は一人ではできないことを仲間と分担し、状況を共有、協力しながら乗り越えることができた。二人が自分たちで考え行動してくれたこと、ヘナ、インディゴを大切にしていることが伝わって、このスタッフと共に働いていることをとても幸せだと思った。

大地に立つと、すべてに感謝が込み上げ、御嶽から吹く風が心地よかった。

この経験も、『うたきの杜』の大切な記録として残しておきたいと思う。



対策のためインディゴを丸裸にしました。

今回、支柱が足りず刺さっていないヘナは、倒れているのが多かった。でも再生可能！  
支柱の大切さを再確認した！



石回りのコスモス全滅…悲しい。



御嶽の木がヘナ畑に…

ギリギリ、ヘナの木には影響なく安心



ヘナ・インディゴの苗を倉庫の中へ避難！